

令和 8 年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	臨湖実習④（分析入門実習）		
実習内容	<p>本実習には 2 つのコースがあり、同時に履修することはできない。どちらも少人数で、諏訪臨湖実験所で宿泊しながら、各専門分野の基礎的な分析方法や結果の解釈の仕方を学ぶ。</p> <p>環境分析化学入門コース） 河川や湖の水試料を用いて、生態学的観点から水質分析を行う。講義や実習を通して、化学実験における流れと注意点を学びながら、外見からは区別困難な水試料の違いを明らかにし、その違いをもたらす背景を考察する。</p> <p>1 日目：ガイダンス、講義、水試料採取／2 日目：水試料分析／3 日目：分析結果の解析・考察</p> <p>遺伝子分析入門コース） 鳥類試料を用いて、試料からの遺伝子抽出や PCR、電気泳動等を経験し、ミトコンドリア DNA を用いた、遺伝子実験の基礎的な流れを習得する。また、遺伝子試料を用いた生態系評価や、保全への貢献事例などを講義で学び、理解を深める。</p> <p>1 日目：ガイダンス、講義、生物試料採取／2 日目：遺伝子抽出～電気泳動／3 日目：解析方法講義</p> <p>実習は、事前学習（オンライン）と、2泊3日：2027年3月15日～3月17日の実習・レポート作成の計4日間実施する。事前学習の日程は、受講者が決定後に相談して決定する。3月15日午後からガイダンスと講義を行い、16日、17日は各コースでの具体的な分析作業を行い、実習中に提示された課題／レポートに取り組み、提出する。</p>		
実習内容キーワード	湖沼, 河川, 水環境, 鳥類, 遺伝子, ミトコンドリア DNA		
担当教員氏名・所属・役職名	宮原裕一・信州大学理学部・教授 笠原里恵・信州大学理学部・助教		
協力教員氏名・所属・役職名			
対象学生・学年	学部 2～4 年, 修士	開講 期間	3/15 (月) ～3/17 (水) : 対面 加えて、事前学習（オンライン）を3月上旬に1日実施する（具体的な日程は受講者と相談して決定する）
開講大学・施設名	信州大学 理学部附属湖沼高地教育研究センター 諏訪臨湖実験所		
施設の住所	長野県諏訪市湖岸通り 5-2-4		
電話	0266-52-1955	F a x	0266-57-1341
e-mail	miyabar@shinshu-u.ac.jp	Web Site	https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/kosyokochi/
交通案内	JR 中央線・上諏訪駅より、諏訪湖側へ徒歩 10 から 15 分		
費用	宿泊費（1,800 円もしくは 2,500 円×2 泊） 食費・交通費は実費負担		
授業科目名	臨湖実習Ⅳ		
単位数	1	定員数	各コース最大 3 名
授業料の徴収について	なし※公私立大学の学生には、単位認定を行わないかわりに受講証明書を発行します。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	湖沼研究に興味を持つ学生であれば学部は問いません。単位互換の有無に関わらず、6 月 30 日（火）までに申し込んでください。単位互換を希望する場合は、申込時に申し出てください。集合場所や持ち物などは、選抜後、信州大学理学部事務から連絡します。		
選抜結果連絡法	信州大学理学部事務から連絡します。		